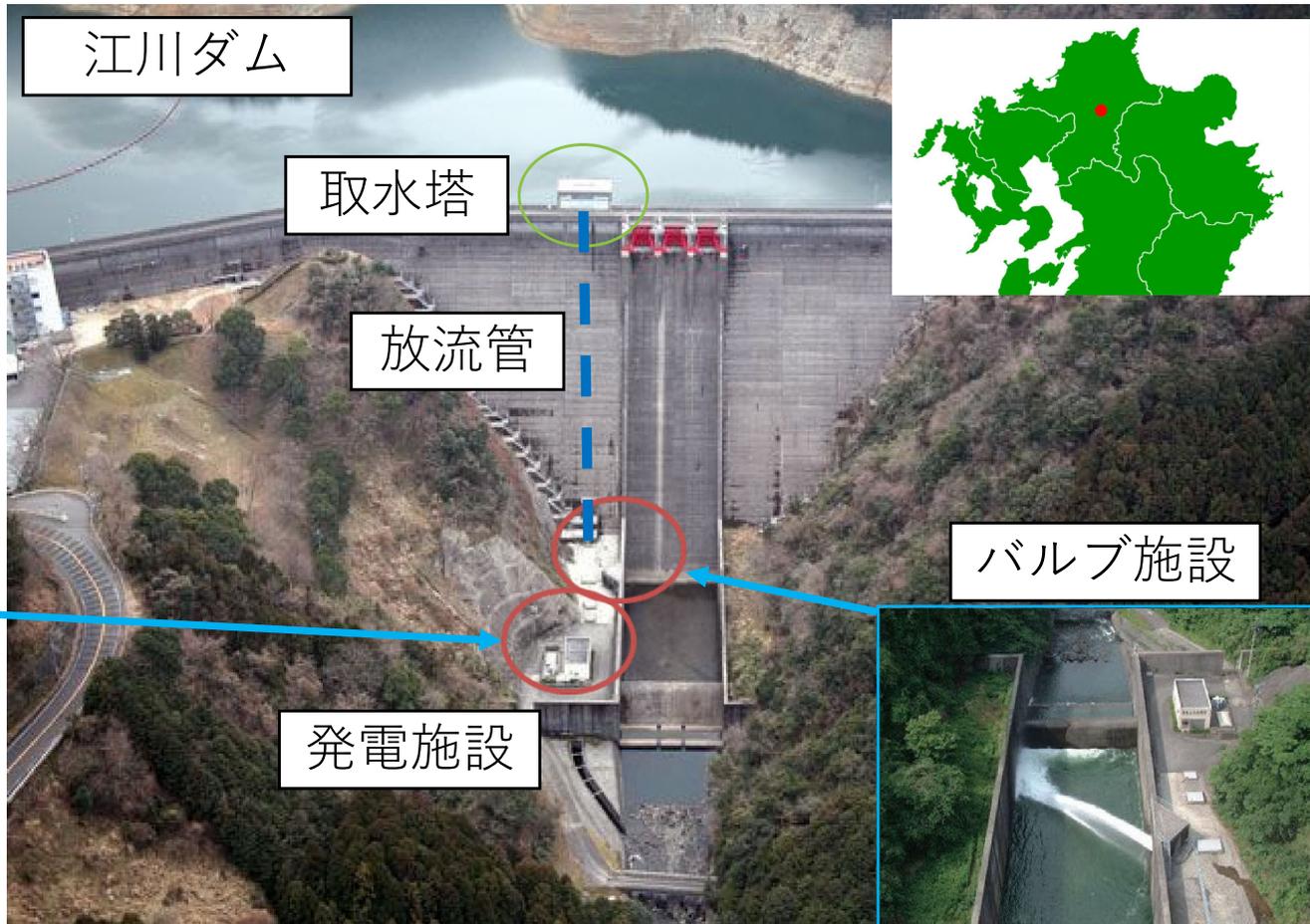


小水力発電の事例（両筑江川発電所）

○両筑平野用水事業（旧水資源開発機構営）の水源（江川ダム）を活用した小水力発電施設

【発電所諸元】

位置：福岡県朝倉市
 最大出力：1,110kW
 年間発電可能量：2,846MWh
 最大使用水量：2.00m³/s
 有効落差：69.0m
 建設費：8億6,500万円
 運用開始：平成2年6月
 造成事業名：県営かんがい排水事業
 （両筑平野地区）
 施設管理者：両筑土地改良区



期別水量

発電用水は、江川ダムからの両筑平野用水のための放流、常時満水位の維持のための放流などに従属する。

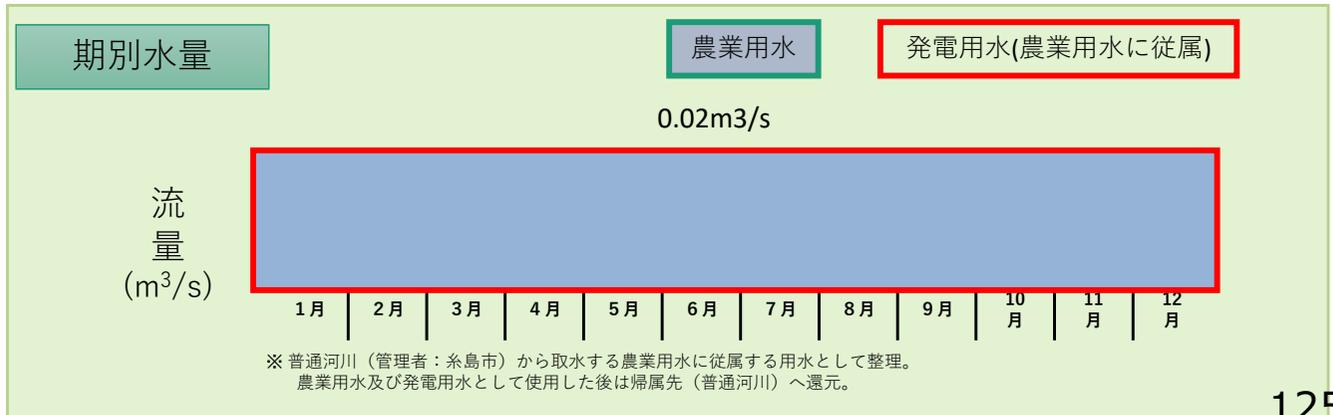
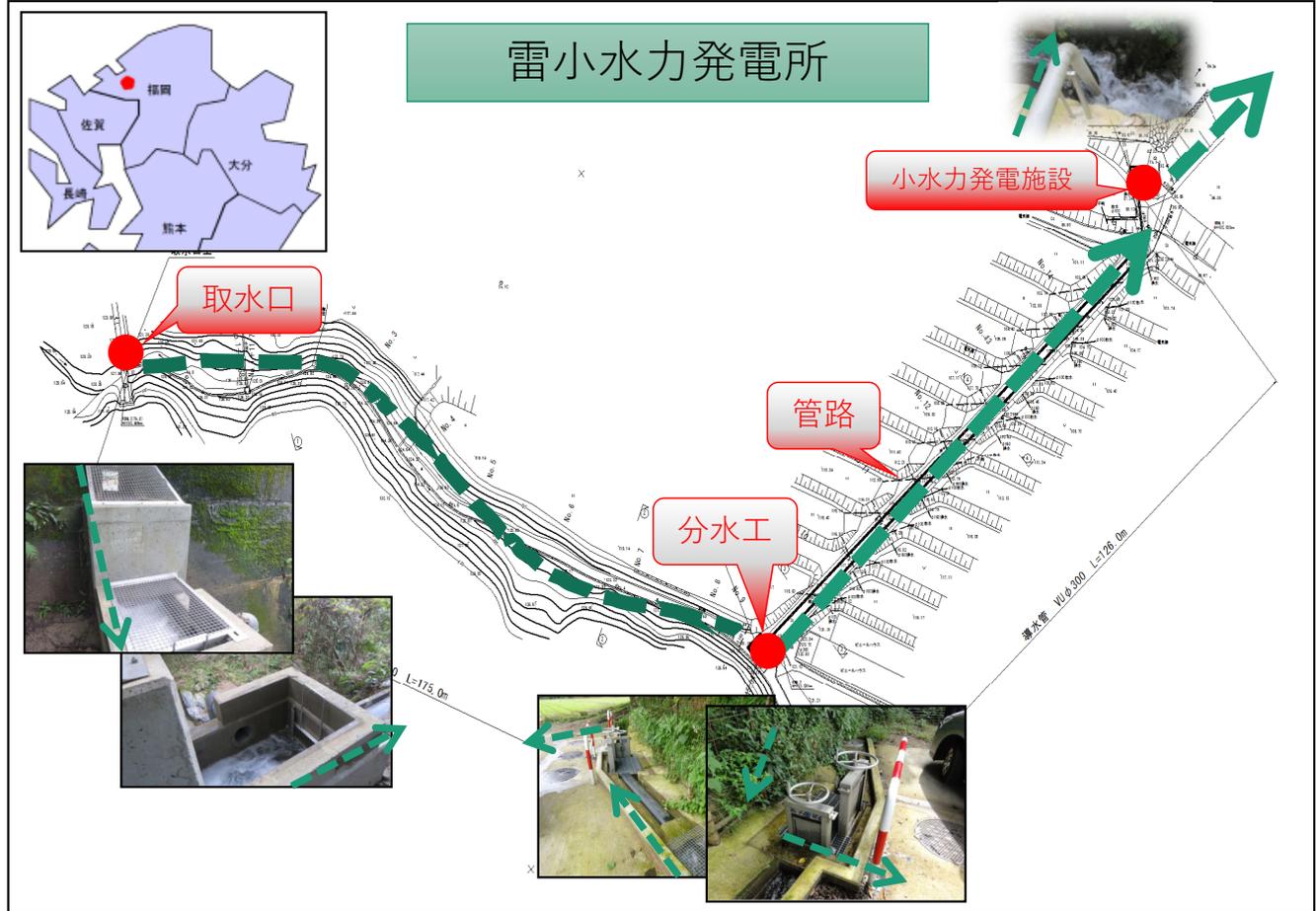


小水力発電の事例 (雷小水力発電所)

○糸島地区の導水管の落差を活用した小水力発電施設

【発電所諸元】

位置 : 福岡県糸島市
 最大出力 : 1.5kW
 年間発電可能量 : 8MWh
 最大使用水量 : 0.02m³/s
 有効落差 : 24.0m
 建設費 : 2,200万円
 運用開始 : 平成26年8月
 造成事業名 : 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
 (糸島地区)
 施設管理者 : 糸島市



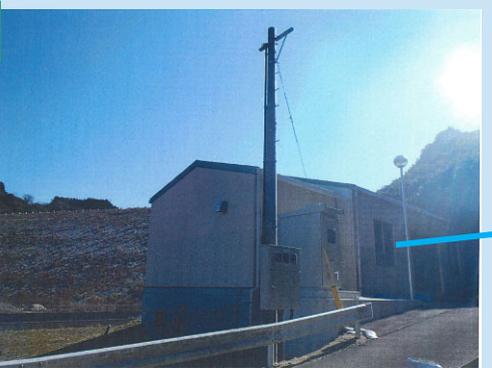
小水力発電の事例 (藤ノ平ダム小水力発電所)

○唐津地区の藤ノ平ダムの導水管を活用した小水力発電施設

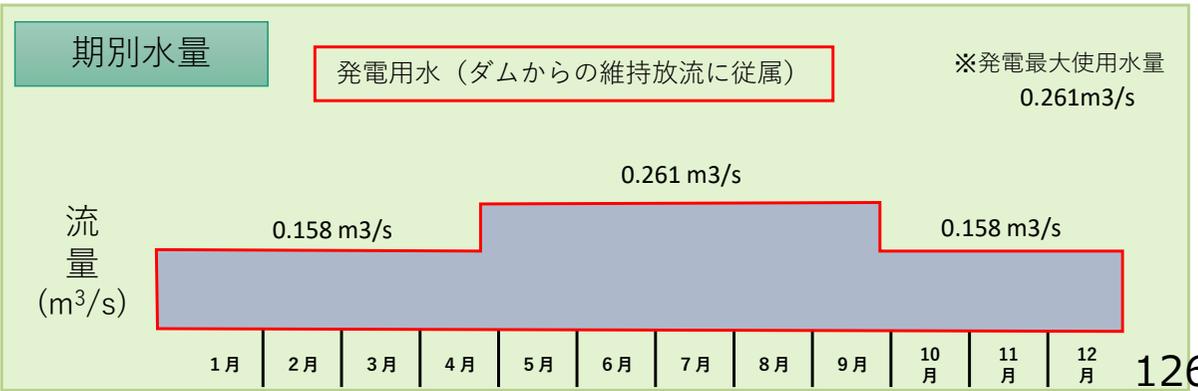
【発電所諸元】
 位置 : 佐賀県東松浦郡玄海町
 最大出力 : 49kW
 年間発電可能量 : 288MWh
 最大使用水量 : 0.261m³/s
 有効落差 : 30.0m
 建設費 : 1億3,700万円
 運用開始 : 平成29年4月
 造成事業名 : 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 (唐津地区)
 施設管理者 : 唐津市、玄海町



小水力発電施設



クロスフロー水車

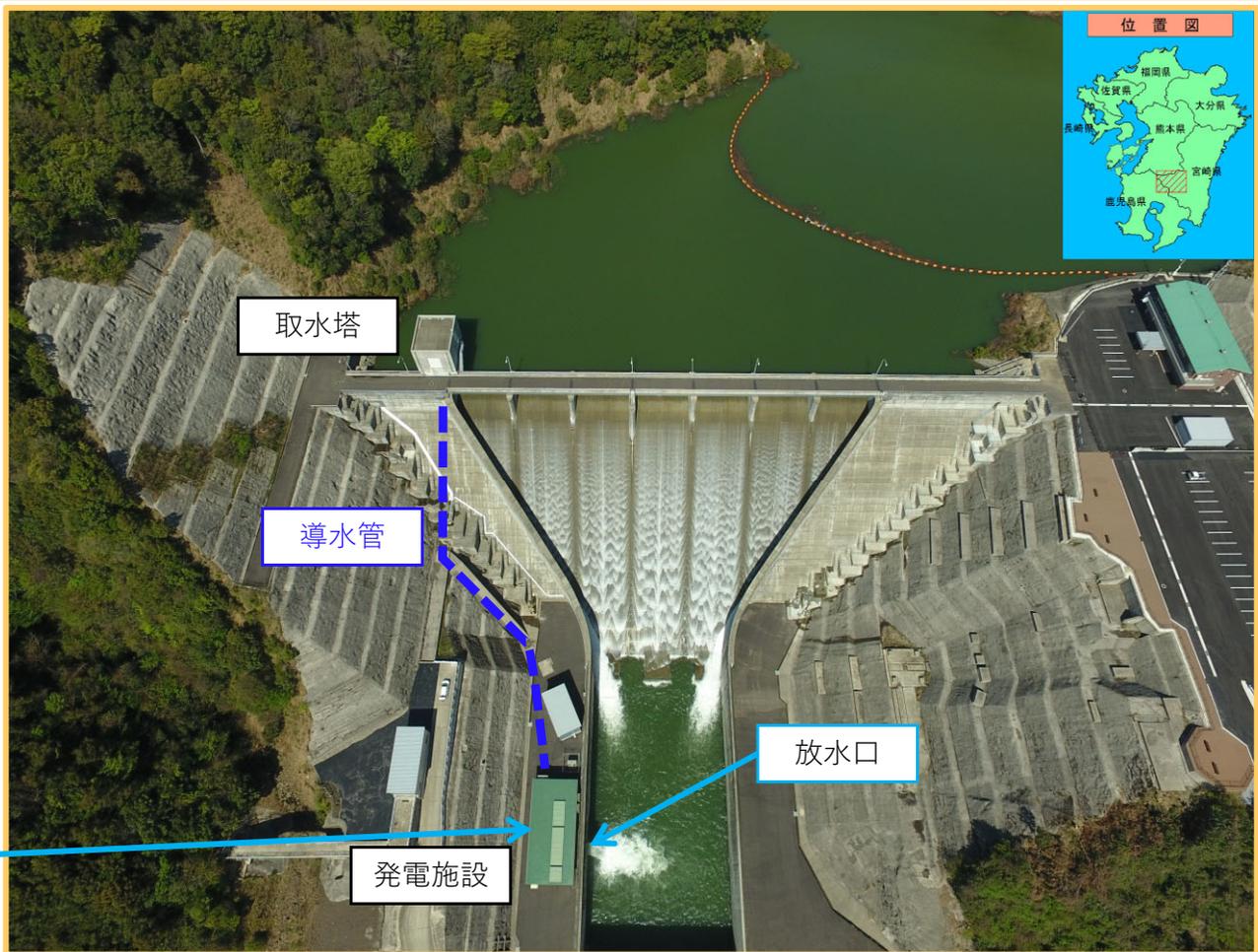
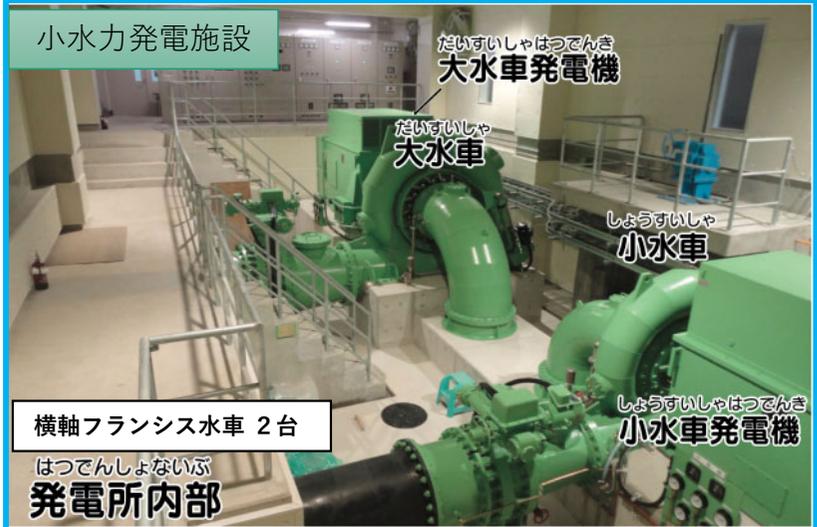
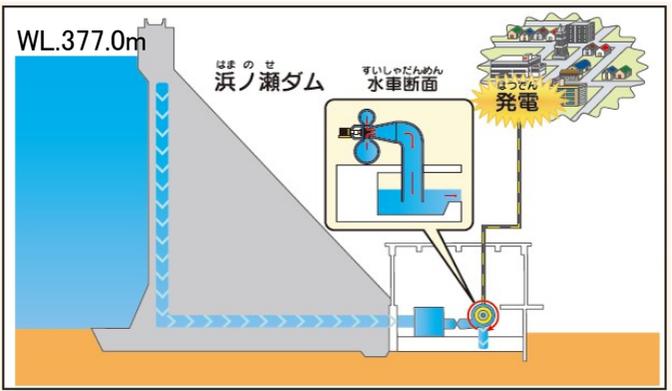


小水力発電の事例 (浜ノ瀬ダム発電所)

○国営西諸地区の浜ノ瀬ダムを活用した小水力発電施設

【発電所諸元】

位置 : 宮崎県小林市
 最大出力 : 1,790kW
 年間発電可能量 : 5,219MWh
 最大使用水量 : 5.5m³/s
 有効落差 : 41.2m
 建設費 : 5億8,800万円
 運用開始 : 平成29年1月
 造成事業名 : 国営かんがい排水事業(西諸地区)
 施設管理者 : 西諸土地改良区



発電用水量 発電用水は、ダムからの河川維持流量や常時満水位維持のための河川放流量（無効放流）を利用している。

※発電最大使用水量 5.5 m³/s

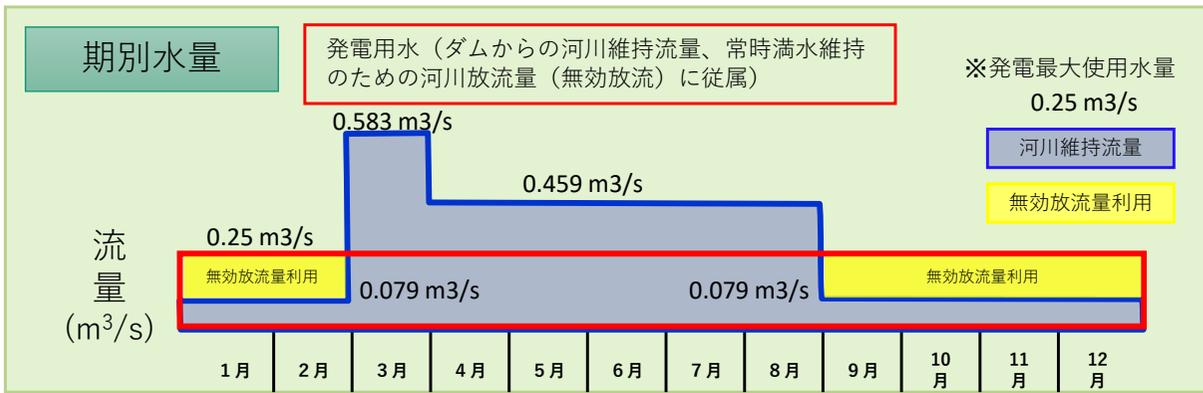


せいろく 小水力発電の事例（青鹿ダム小水力発電所）

○国営尾鈴地区の青鹿ダム放流施設を活用した小水力発電施設

【発電所諸元】

位 置 : 宮崎県児湯郡川南町
 最大出力 : 47kW
 年間発電可能量 : 236MWh
 最大使用水量 : 0.25m³/s
 有効落差 : 30.3m
 建設費 : 7,300万円
 運用開始 : 平成26年8月
 造成事業名 : 国営かんがい排水事業
 (尾鈴地区)
 施設管理者 : 尾鈴土地改良区連合



小水力発電の事例（荒瀬ダム発電所）

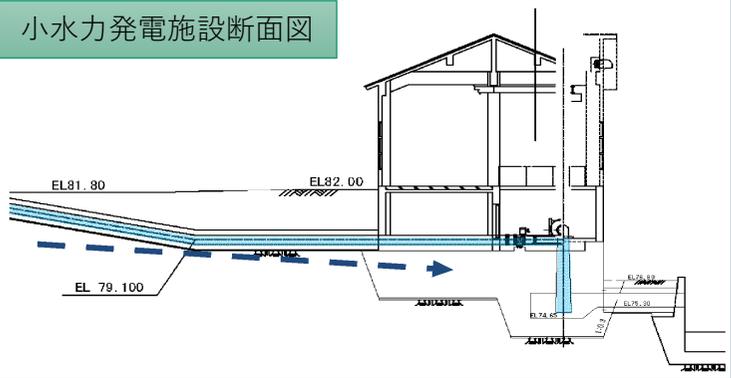
あらせ

○国営肝属中部地区の荒瀬ダムを活用した小水力発電施設

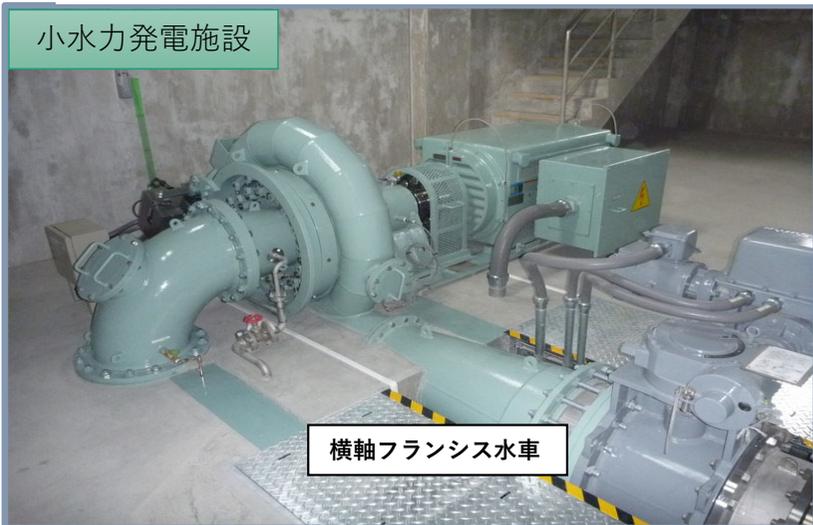
【発電所諸元】

位置 : 鹿児島県肝属郡肝付町
 最大出力 : 308kW
 年間発電可能量 : 1,414MWh
 最大使用水量 : 0.6m³/s
 有効落差 : 62.01m
 建設費 : 2億8,200万円
 運用開始 : 平成29年12月
 造成事業名 : 国営かんがい排水事業(肝属中部地区)
 施設管理者 : 肝属中部土地改良区

小水力発電施設断面図



小水力発電施設



横軸フランシス水車



発電用水量

発電用水は、ダムからの河川維持流量や常時満水位維持のための河川放流量（無効放流）を利用している。

※発電最大使用水量 0.6 m³/s

